

世界無形文化遺産 能楽

全
5
回

2023
1/21_{|土|} 3/25_{|土|}

14:30開演 (13:30開場 / 16:00~16:30頃終了予定)

※詳しい日程は中面をご覧ください。
※終了時間は演目により異なります。

冬の 観劇 ムヒ 夕月 への

花鳥風月

時にはゆっくりと
風流を味わい楽しませませんか？

K a g a
H o s h o
N o h
T h e a t e r

各公演 / 前売 **1,000円** 当日 **1,200円**

チケットのお求め 石川県立能楽堂、石川県立音楽堂チケットボックス
(076-232-8632)、金沢能楽美術館(076-220-2790)、
香林坊大和プレイガイド(076-220-1332)

※石川県立能楽堂以外でのチケット販売は各公演日の3日前までとなります。
※高校生以下無料。ただし、入場券が必要となります。
入場券は石川県立能楽堂でお求めください。

主催 / いしかわの伝統文化活性化実行委員会

会場・お問い合わせ

石川県立能楽堂 TEL&FAX 076-264-2598
〒920-0935 金沢市石引4-18-3





能楽とは What's Nohgaku?

「能楽」は、継承されている演劇としては「世界最古」といわれる日本独自の舞台芸術で、「能」と「狂言」から成ります。日本で最初にユネスコ(世界無形文化遺産)に登録された世界が認める伝統芸能です。

「能」では、笛や鼓による演奏と地謡と呼ばれるコーラス隊の謡にあわせて舞台上の人物が舞いながら物語を展開します。一方「狂言」は、庶民の日常生活を題材とした喜劇であり、会話を中心に物語が展開します。

加賀宝生 Kaga Hoshō

江戸時代、能は幕府の式楽となり、各地の藩でも能が盛んになりました。加賀藩前田家は能の宝生流(5流派の1つ)を手厚く保護・育成し、庶民にも広く推奨したことから、今では金沢といえば「加賀宝生」と言われるほど、独自の発展を遂げています。



花鳥風月

花を愛で鳥のさえずる声に耳を傾け、
自然の美しい風景を想像し、

風流を楽しむ。

公演

予定

1/21



〈仕舞〉 ^み三 ^わ輪 藪 俊彦

〈狂言〉 ^{ふみ}文 ^{やま}山 ^{だち}賊 炭 光太郎

二人の山賊が口論の末果し合いを始めるが、この勇ましき潔さを誰にも知られずに死ぬのは惜しいので置き残す。それを妻子が読んだら、さぞかし悲しむであろうと感じた山賊たちはいったいどうするのでしょうか。

〈能〉 ^{とう}東 ^{ぼく}北 葛野 りさ

都の東北院の梅を眺めていた僧たちの前に一人の女性が現れ、それは和泉式部の植えた軒端の梅と教え、自分は式部の霊と名乗り消えてしまう。その夜の僧の夢に和泉式部は美しい本体を現し、優雅な舞を舞う。



1/28



〈仕舞〉 ^う右 ^{こん}近 高橋 憲正

〈狂言〉 ^{つと}苞 ^{やま}山 ^{ふし}伏 清水 宗治

山人と山伏が昼寝をしている所に通りかかった男が、山人の弁当を見つけ食べてしまい、山人が目覚めたため、寝た振りをする。山人は、弁当がなくなっていることに気づき、「誰か弁当を食べたのか?」と狂言には珍しい推理劇のようなお話。

〈能〉 ^{たつ}龍 ^た田 佐野 弘宣

旅の僧が龍田川を渡ろうとすると一人の巫女が現れ、川を渡ることをとめ、別の道から明神の社殿へ導く。自分は龍田姫であると名乗ると社壇の扉を押し開き御殿に入った。龍田明神が現れ、明神の縁起を説き、紅葉の美しさを舞い讃え、神楽を奏して昇天する。



2/4



〈仕舞〉 ^{まき}卷 ^{ぎぬ}絹 松田 若子

〈狂言〉 ^{ぶつ}仏 ^し師 能村 晶人

堂を建立した田舎者は、中に安置する仏像を買い求めに都へ行く。都は大きくなかなか仏師を探せない田舎者の元へ、詐欺師が近づき自分は仏師であると偽り、金を騙し取ろうと企てますが…。

〈能〉 ^{えびら}箆 木谷 哲也

旅の僧は摂津の生田川のほとりで見事な梅を見つけ里の男に尋ねたところ、源平合戦の折、梶原景季がこの梅を箆(矢を入れて腰や肩に掛ける容器)にさして戦ったとのこと。男は合戦の様子を語り、景季の幽霊だと明かす。修羅道に苦しむ様を語ると、僧に回向を頼み、姿を消した。



3/4



〈仕舞〉 ^{みつ}三 ^{やま}山 藪 克徳

〈狂言〉 ^ひ樋 ^{さけ}の酒 炭 哲男

留守中に酒を盗み飲みする太郎冠者を軽物蔵へ、次郎冠者を酒蔵へ閉じ込めて主人は外出する。酒が飲みなくなった二人だが、軽物蔵にいる太郎冠者は飲めない。いったい二人はどうするのか。酒を飲めるのか、飲めないのか。

〈能〉 ^{かす}春日 ^{がりゅう}龍神 渡邊 茂人

釈迦を深く思い慕う明恵上人は、インドでの仏跡巡礼を決意し、旅立ちの前に春日明神に参詣する。そこで出遭った老宮守が真の仏跡は日本にあると説き、いなくなる。末社アイが仏法伝来の苦難を語る。龍神が登場し、釈迦の説法や誕生から入滅の様子などを見せ、上人がインドへ渡ることを断念したことを確認し、猿沢の池に大蛇となって消える。



3/25



〈仕舞〉 ^ひ氷 ^{むろ}室 島村 明宏

〈狂言〉 ^{なり}成 ^{あが}上り 中尾 史生

主人と太郎冠者が鞍馬へ参詣に出かけ、眠っていたところ、騙り者が現れ、冠者が抱えていた主人の太刀を青竹にすりかえて逃げる。目を覚ました冠者は、太刀が青竹に成り上がったと主人に報告し、失態をごまかそうとする。

〈能〉 ^{よう}養 ^{ろう}老 佐野 玄宣

美濃の養老の滝の霊泉が湧き出たと聞いた雄略天皇は勅使を実検に赴かせる。泉を発見した親孝行の男とその老父に出会い、養老と名付けたいわれを尋ねて感激する。やがて天より音楽が聞こえ、山神が現れ、泰平の世をたたえ、神舞を舞い、天上へと帰って行く。



Scheduled performance

※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容等が変更・中止となる場合があります。

能の出演者 Performer of Noh

1 シテ 物語の主演です。演出も行います。

2 ワキ シテの相手役です。

3 後見 こうけん 舞台の監督役です。

4 地謡 じうたい 謡のうち、シテやワキのセリフ以外の情景や心情を描いた部分を担当します。

5 囃子方 はやし しかた 舞台上で楽器を演奏します。

アイ … 能の前後場の間をつなぐ狂言をアイ(間狂言)と呼びます。



6m四方の本舞台には檜板が縦に張られています



石川県立能楽堂

Ishikawa Prefectural Noh Theater

能楽文化の保存・継承及び振興の拠点として、昭和47年全国初の独立した公立能楽堂として開館し、令和4年に開館50周年を迎えました。能舞台は、昭和7年に建てられた金沢能楽堂本舞台を移築したもので年月を経て落ち着いた趣に満ちています。

楽しく観る 3つのポイント

Three points for enjoy

- 1 事前にあらすじを理解しておく、より舞台を楽しめます!**
※当日は詳しいあらすじと詞章(台詞を書いたもの)を配布します。また、県立能楽堂のホームページでも事前に掲載しています。
※プレ講座に参加すると、より理解が深まります。
- 2 初めてや久しぶりに観る方には、正面の席がおすすめ!**
- 3 前日は十分に睡眠をとる!**
※後半のクライマックスは必見です。
※能にはリラックス効果があるので、眠くなったら雰囲気を感じながら眠るのも一つです。

i 能楽堂の展示コーナーが新しくなりました!

「冬の観能の夕べ」などの公演では、展示コーナーに能面や能装束など実際の舞台上で使用されている貴重なものを公開しています。ご来場の際は、ぜひご覧ください。



金沢能楽美術館 関連行事

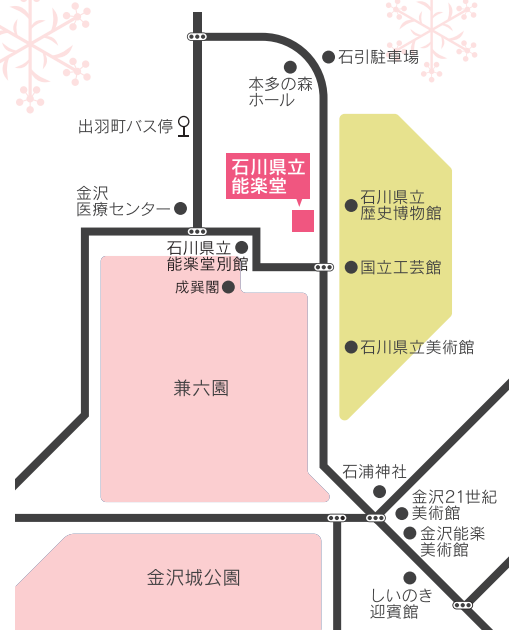
「冬の観能の夕べ プレ講座〈全2回〉」 (各回60分・定員40名)

金沢能楽会の人気能楽師が、見どころを分かりやすく紹介します。 **参加無料** (要観覧料、要申込)

第1回	第2回
1/15(日) 10:30~ 1/21・28、2/4の演目解説 講師:松田 若子	3/4(土) 10:30~ 3/4・25の演目解説 講師:佐野 玄宜

詳しくは金沢能楽美術館のホームページをご覧ください。

■お申し込み・お問い合わせ **金沢能楽美術館** 金沢市広坂1丁目2番25号 TEL.076-220-2790
10:00~18:00(入館17:30まで) 月曜休館(祝日の場合は翌平日休館)



金沢駅兼六園口(東口)6番のりば 北鉄バス 出羽町バス停より徒歩3分

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来場の皆様にマスクの着用等ご協力をお願いする場合がございます。詳しくは石川県立能楽堂ホームページにてご確認ください。

[石川県立能楽堂ホームページ]
<https://noh-theater.jp/>

